

第2章 令和3年度山口大学構内遺跡の調査

第1節 令和3年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内はいずれも「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、いわゆる「遺跡」の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、古代官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は、大学構内に埋存する貴重な文化財の保護・調査・研究・活用する施設として、昭和52(1977)年に竣工し、翌昭和53(1978)年に構内遺跡調査要綱(埋蔵文化財資料館規則など)が制定、昭和54(1979)年に教職員が配置されて以降、その重責を担い続けている。当館の令和3年度の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が所在する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の観点から、文化財に支障が生じる可能性が考えられる場合には、本発掘・予備発掘・工事立会の3種いずれかの方法で、厳密に調査を実施している。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(公認サークル施設や職員宿舎等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、で

表3 令和3年度山口大学構内遺跡調査一覧

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m ²)	調査期間	本書掲載頁
予備	文化系サークル棟新営その他工事	吉田	F-14	24	8月19日～9月8日	15
立会	文化系サークル棟新営その他工事(設備関連工事)	吉田	F-15、G-15・16	45.6	9月10日	21
	農学部授業(生物資源環境科学基礎実験)	吉田	S-18・19	2	9月1日	22
	実験動物施設改修工事	吉田	O-19、P-18・19	65	9月16～21日 10月1・14日 12月2～8・15・22日 1月7日	24
	農学部附属農場果樹園土壌改良作業	吉田	R-17・18 S-17・18	62.4	9月21・24・27・28日	26
	農学部授業(生物資源環境科学基礎実験)	吉田	R-16、T-17	1	10月25日	29
	農学部附属農場果樹園果樹植替作業	吉田	S-19	12	11月 4・5・8・9・12・15・16日	30
	経済学部屋外雨水管敷設替工事	吉田	K-19・20	8	2月10日	33
	附属農場フィルムハウス設置に伴う地ならし工事及び基礎等掘削工事	吉田	R・S-10	18.5	2月15・21日、3月2日	35
	特別支援学校校舎改修工事	吉田	B-21・22 C-21・22	98.09	2月15・22日	36
	馬術部倉庫裏周辺排水改善対策工事	吉田	M-7	20	3月2日	38
	医学部附属病院多用途型トリアージスペース整備事業(本体工事)	小串		170	6月10日	39
確認	基幹・環境整備(階段工設置工事)	光		3.7	4月19日	40
	基幹・環境整備Ⅱ(擁壁安全対策)(附属光小・中学校)学生宿泊施設沿岸部分改修)	光		819	10月7日 11月2～5・8日	41

きる限り工事掘削時に確認調査を行っている。これらの調査に対する令和3年度の当館の教職員配置は、兼任の館長および副館長が1名ずつ、専任教員2名、専任技術職員1名、技術補佐員1名であった。上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、埋蔵文化財資料館専門委員会において、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能であるか厳格な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て、できる限り迅速に発掘調査概報(年報)を刊行している。

令和3年度は、新型コロナウイルス対策に一定の形が整えられたこともあってか、前年度に比して土地の掘削を伴う工事計画が増加した。例年どおり工事の大多数は吉田構内に集中することとなったが、上記の体制のもと、令和3年度に当館が実施した各構内における調査は、表3のとおり総数14件、内訳は予備発掘調査1件、工事立会11件、確認調査2件であった。



写真22 吉田構内航空写真(南東から)



写真23 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)航空写真(東から)



写真24 白石構内(教育学部附属山口中学校)航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

吉田構内(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部:山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校:同吉田3003所在)

予備発掘調査1件、立会調査10件を実施した。構内北西端部では、令和元年度に行った学生会館新営工事に伴う予備発掘調査にて弥生時代の河川跡を確認しているが、文化サークル棟新営その他工事に伴う予備発掘調査では、その延長部と推測される河川跡を検出した。

農学部附属農場敷地では、土壌改良や果樹の植替、授業による土地の掘削が行われた際に立会調査を実施し、ブドウ園やモモ園敷地において複数の遺構を確認した。経済学部屋外雨水管敷設替工事に伴う立会調査では、河川上に堆積した軟弱地盤に複数の遺構が形成されていることを確認した。また、実験動物施設改修工事に伴う立会調査では河川跡を検出するなど、吉田遺跡に関する貴重な新知見を得るに至っている。

白石構内(教育学部附属山口幼稚園:山口市白石三丁目1-2、同山口小学校:白石三丁目1-1、同山口中学校:白石一丁目9-1所在)

令和3年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

小串構内(医学部、同附属病院:宇部市南小串1丁目1-1)

医学部附属病院多用途型トリアージスペース整備事業(本体工事)に伴う工事立会を実施した。調査地点は真締川の氾濫原であったようで、耕地化に伴う近世の客土が構内他地点に比べ厚く置かれていることを確認した。

常盤構内(工学部:宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎:同上野中町2658-3所在)

令和3年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

光構内(教育学部附属光小学校、同光中学校:光市室積8丁目4番1号)

周知の埋蔵文化財包蔵地隣接地にて確認調査を実施し、石垣と近世～近代の遺構面の可能性がある層を確認した。



図2 小串・常盤構内位置図



写真25 小串構内航空写真（南東から）



写真26 常盤構内航空写真（南から）



写真27 光構内航空写真（北東から）

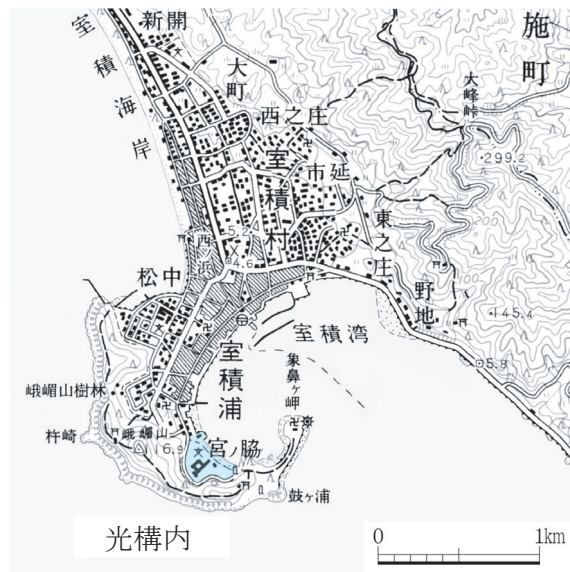


図3 光構内位置図